

# 中学校国語

1 課題のある全国学力・学習状況調査問題

2 結果分析から見えてきた今後の取組

## 1 課題のある調査問題(国語A)

全国:72.1% 本市:66.7% ⇒ 全国比-5.4

■国語A9ー

文脈に即して漢字を正しく書く

問い: 楷書でていねいに書きなさい。

「地図のシュクシャクを調べる。」

縮尺 無解答率 全国: 10.1% 本市:13.9%

## 1 課題のある調査問題(国語A)

全国:78.2% 本市:70.5% ⇒ 全国比-7.7

### ■国語A9二

#### 文脈に即して漢字を正しく読む

問い: 正しい読みを書きなさい。

「詳細に述べる。」

しょうさい 無解答率 全国: 5.2% 本市:7.7%

## 1 課題のある調査問題(国語A)

①全国:62.3% 本市:55.4% ⇒ 全国比-6.9

②全国:33.7% 本市:28.4% ⇒ 全国比-5.3

### ■国語A9四①②

#### 単語の類別について理解する

問い: 私は伝えたい内容が明確になるように、次のアの文をイの文に変えました。イの文の方が、器の色が特に目を引き付けたことが伝わります。これは「青い」という(①)を、「青さ」という(②)に変えて、主語にしているからです。

ア 大きな青い器が私の目を引き付けた。



イ 大きな器の青さが私の目を引き付けた。

① 形容詞

② 名詞

# 1 課題のある調査問題(国語A)

全国:66.4% 本市:61.6% ⇒ 全国比-4.8

## ■国語A7二

伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く

問い:【回答案A】の冒頭に、次の一文を入れて掲示することになりました。( )に当てはまる適切な言葉を十八字以内で書きなさい。

■( )という要望について回答します。

■放課後も花壇に水やりを行ってほしい

【要旨】

美化委員会へ  
美化委員会に要望があります。  
現在、美化委員会では花壇花壇に水やりを行っています。  
それを、放課後も行ってはどうでしょうか。これからの時期は暑くなり、朝の水やりだけでは足りないと思います。  
ぜひ、検討してください。

【回答案A】

委員会で検討したところ、「指論はもっともだ」、「放課後は、委員も部活動に出るのでできない」など、様々な意見が出されました。その結果、「委員だけで放課後に水やりを行うことは難しい」ということになりました。  
そこで、生徒の皆さんからもボランティアを募集して、放課後の水やりを行っていくことにします。  
美化委員長 小林 太郎

【回答案B】

委員会で検討した結果、「委員だけで放課後に水やりを行うことは難しい」ということになりました。そこで、生徒の皆さんからもボランティアを募集して、放課後の水やりを行っていくことにします。  
話し合いの中では、「指論はもっともだ」という意見もあった一方で、「放課後は、委員も部活動に出るのでできない」という意見が出され、このような結論になりました。  
美化委員長 小林 太郎

7 次は、美化委員会に対して寄せられた「要旨」と、美化委員長が答へて返す予定の「回答案A」、「回答案B」です。これを参考に、各々の問いに答えなさい。



# 1 課題のある調査問題(国語B)

全国:23.0% 本市:18.1% ⇒ 全国比-4.9

## ■国語B2三

複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを書く

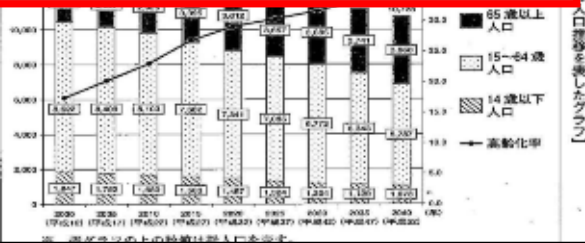
無解答率 全国: 3.7% 本市: 5.8%

# 1 課題のある調査問題(国語B)

■複数の資料から適切な情報を得る。

B2三

■自分の考えを具体的に書く。



B 日本の人口推移を表したグラフ

## 生活を支援するロボットの開発

世界では、様々なロボットの開発が進められている。例えば、人の移動を支援する活歩型ロボット。このロボットの中には、10年以上前から実用化されているものもあり、空港でのパトロールなどに使われている。現在、日本では、「生活支援ロボット」の開発が行われている。誰でも簡単に乗り降りでき、日常生活での移動を助ける活歩型ロボットの開発に加え、装着型ロボットの開発も進んでいる。これは、装着した人の意思を読み取って身体の動きをサポートするロボットである。身体機能の回復のためのリハビリテーションなどで既に一部導入されているが、今後は、足腰の弱った人の歩行支援、重い荷物を持ち上げ、レスキュー活動など、幅広い場



C 雑誌の記事の一部

## Discover Tomorrow ～未来(あした)をつかもう～

世界のスポーツ界が急速な変化や様々なチャレンジに直面する中で、東京は「素晴らしい大会を確実に開催し、オリンピックとパラリンピックの価値を次世代に受け継いでいく」ことを訴え、花嫁の成功を実現することができました。そのメッセージは、世界に約束である3つの強みによって支えられています。

まず、安心、安全、確実な大会開催。世界有数のインフラやセキュリティを誇る東京の都市力に加え、大会は政府のバックアップを受けて開催されます。数々の国際競技大会開催経験に基づく日本の運営能力も、円滑な大会運営に貢献します。

次に、オリンピック・パラリンピックへの日本の情熱。大都市東京の中心で、多くのファンによって選手に大歓声が送られる大会は、かつて前を見なかったような素晴らしい雰囲気となって、世界中の人々を熱狂に駆り立てます。

3つめに、イノベーション。最先端都市東京の中心で、日本のテクノロジーや想像力を結集し革新に導いた大会を開催することで、オリンピック・パラリンピックのインスピレーションを世界中の若者たちへ届けることができます。

また、招致が決定したブエノスアイレスのIOC総会では、日本のプレゼンターが、東日本大震災以降、日本人があらためて気づいたスポーツの真の力についても語りました。

震災復興に導き、多くのアスリートたちが被災地に力を運んでいます。活動の中で、子供たちがスポーツを通じて少しずつ笑顔になっていく様子を目の高たりにし、私たちはスポーツやアスリートが社会において果たせる役割についてあらためて気づくことができました。2020年の大会開催に向けて、今後はそのスポーツの力を世界に伝えて、社会におけるスポーツの価値向上に貢献する。それが日本の決意です。

(公開前は仮称「東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」ウェブサイトによる)

A ウェブページの問題

2 次の資料は、「A ウェブページの文章」、「B 日本の人口推移を表したグラフ」、「C 雑誌の記事の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 2 今後の取組

### 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- 漢字は、「授業の中で学ぶ→家庭で練習する→日常生活において、意識して使う」ことで定着させる。

### 「書くこと」「読むこと」の領域において..

- 伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書く。(行事のあと等、日常的に文章を書く習慣をつける。)
- 複数の本や資料から得た情報を自分と結び付けて考えることができるような授業を定期的に行う。

○読み・書き・計算等だけでなく..

■思考し、協働し、表現する授業づくりを！

(4) 国語科の分析及び改善の方向

(福岡教育大学 教授 山元 悦子)

(5) 小学校算数・中学校数学

○ 算数A（小学校）

基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

集計結果

対象児童数	北九州市（公立）	全国（公立）
	7,766	1,061,301

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			北九州市 (公立)	全国 (公立)
全体		16	73.3	75.2
学習指導要領 の領域等	数と計算	7	79.2	80.1
	量と測定	3	69.7	71.3
	図形	4	60.4	64.5
	数量関係	2	84.2	84.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	0		
	数量や図形についての技能	7	77.1	77.2
	数量や図形についての知識・理解	9	70.4	73.6
問題形式	選択式	5	68.1	70.5
	短答式	11	75.7	77.3
	記述式	0		

○ 算数B（小学校）

基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

集計結果

対象児童数	北九州市（公立）	全国（公立）
	7,758	1,061,063

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			北九州市 (公立)	全国 (公立)
全体		13	43.7	45.0
学習指導要領 の領域等	数と計算	4	41.5	42.4
	量と測定	3	39.7	41.7
	図形	7	43.5	45.6
	数量関係	3	42.0	43.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	9	34.1	35.3
	数量や図形についての技能	2	57.4	58.7
	数量や図形についての知識・理解	2	73.1	74.9
問題形式	選択式	3	69.1	70.6
	短答式	5	40.9	42.2
	記述式	5	31.3	32.5

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

# ○ 算数A

## 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	北九州市(公立)	全国(公立)	北九州市(公立)
1 (1)	8.9 - 0.78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	4A (2) アウ						○	○		69.4	71.0	0.4	0.6	
1 (2)	5.21 + 0.7は0.01が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを書く	単位となる小数の幾つ分で、小数の大きさを表すことができる	4A (2) ア 4A (5) アイ						○		○	73.7	74.3	0.9	1.1	
1 (3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	加法における計算の確かめの方法を理解している	2A (2) ウ 3A (2) ウ 4A (5) イ						○		○	74.9	82.0	2.4	2.0	
2 (1)	28 + 72を計算する	繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることができる	2A (2) ア						○		○	98.5	98.2	0.1	0.2	
2 (2)	6.79 - 0.8を計算する	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	4A (5) イ						○		○	70.1	69.5	0.8	0.7	
2 (3)	5/9 - 1/4を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる	5A (4) オ						○		○	80.2	81.4	1.5	1.8	
2 (4)	5/6 ÷ 7を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	5A (4) カ						○		○	87.3	84.2	2.3	4.1	
3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる	3B (3) イ						○		○	74.5	74.8	0.9	1.0	
4 (1)	90°, 180°, 270°, 360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることができる	4B (2) アイ						○	○		79.6	81.3	0.2	0.3	
4 (2)	分度器の目盛りを読み、180°よりも大きい角の大きさを求める	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる	4B (2) アイ						○		○	55.1	58.0	0.5	0.5	
5 (1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ	示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができる	3C (1) アウ						○	○		46.3	50.6	1.1	1.6	
5 (2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる	3C (1) ア イウ 5C (1) ウ						○		○	58.7	64.5	2.3	2.4	
6 (1)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く	示された見取図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることができる	2C (1) ウ 4C (2) ア 5C (1) イ						○		○	71.7	75.4	2.0	2.1	
6 (2)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ	見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解している	2C (1) ウ 4C (2) ア						○	○		64.9	67.6	2.7	3.4	
7	ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ	グラフに表されている事柄を読み取ることができる	3D (3) ア 5D (4)						○	○		80.6	81.8	1.5	2.3	
8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができる	3D (2) ア 4D (2) ア						○		○	87.8	88.1	3.8	4.6	

# ○ 算数B

## 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	北九州市(公立)	全国(公立)	北九州市(公立)	全国(公立)
1 (1)	平行四辺形を構成することができる。四つの辺の組み合わせを選ぶ	平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している			4C (1)イ					○	○		94.1	95.2	0.0	0.1	
1 (2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している			4C (1)アイ					○	○		52.2	54.6	0.8	1.0	
1 (3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる			4C (1)アイ		○				○		25.3	27.7	16.5	14.3	
2 (1)	トマトを7個買うとき、最も安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く	単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めることができる		5B (4)ア		4D (2)ア				○	○		62.1	64.8	0.2	0.3	
2 (2)	20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることができる				5D (3)		○			○		14.2	13.1	4.4	4.5	
2 (3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述できる				5D (3)		○			○		49.7	51.0	12.3	12.8	
3 (1)	周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれこの目盛りのところを持ってばよいかを書く	正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる	3A (4)ア 5A (1)イ			3C (1)ア		○			○		28.9	32.5	6.8	6.7	
3 (2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、∠の角が30°になるわけを書く	正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、∠の角が30°になる理由を記述できる				3C (1)アイ 5C (1)イウ		○			○		47.2	49.1	20.6	18.9	
4 (1)	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができる	4A (2)アイ					○			○		52.8	52.6	2.0	2.4	
4 (2)	切り上げて計算した結果が10000であることをから分かることを選ぶ	切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる	4A (2)アウ					○			○		61.0	62.0	3.2	3.9	
4 (3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述できる	4A (2)アイウ					○			○		23.5	22.3	15.7	15.3	
5 (1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述できる		4B (1)アイ 5B (1)ア		2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ		○			○		10.5	12.5	22.2	21.0	
5 (2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める	条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができる		4B (1)アイ 5B (1)ア		2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ		○			○		46.4	47.8	15.9	17.3	



# 算数科



算数A 7766名

算数B 7758名



## 概況と正答率の低い設問について

### A問題

- ① 小数の減法の概算
- ② 小数の計算
- ③ 角の大きさ

### B問題

- ① 割合
- ② 面積についての説明

## 【全体的概況】

算数Aは、6項目中、4項目改善，算数Bは、7項目中、6項目改善している。しかし、すべての項目において全国を下回っており、基礎的・基本的な内容，及び活用する力に課題がある。（平成19年度～）

### 算数A「数と計算」領域

	出題数	全国平均以上の正答率数
H24	7	1
H25	7	1
H26	6	1
H27	4	3

算数科A

正答率 <全国:71.0% 北九州市:69.4%> -1.6ポイント

誤答者数 2376名

1(1)  $8.9 - 0.78$   
 1 0.1      2 1      3 0.8      4 8

小数の計算の結果の見積もりに課題→計算の結果のおよその大きさを捉えることができていない。

0.1と解答

【誤答】12.2%

末尾をそろえて計算の結果を考えている。

0.8と解答

【誤答】12.8%

小数点の処理を誤っている。

・計算は、繰り返し徹底して練習させる。(維持・継続する)

・計算の手順だけでなく、見積もったり、もう一度やり直したりする態度を育てる。(よさ)

算数科A

正答率 <全国:69.5% 北九州市:70.1%> +0.6ポイント

誤答者数 2322名

2(2)  $6.79 - 0.8$

1(2)  $0.75 + 0.9$  (H25)正答率 60.0%

1(1)  $9 - 0.8$  (H26)正答率 79.4%

末尾のそろっていない小数の計算の理解に課題→小数の仕組みを活用して、小数点をそろえて位ごとに計算することの理解ができていない。

【誤答】12.6%

末尾をそろえて解答

$$\begin{array}{r} 6.79 \\ - 0.8 \\ \hline 6.71 \end{array}$$

位を正しくそろえて計算

$$\begin{array}{r} 6.79 \\ - 0.8 \\ \hline 5.99 \end{array}$$

比較する

- ・計算は、繰り返し徹底して練習する。(維持・継続する)
- ・位を揃えて計算する意味を理解させるために、左のような誤答を提示し、処理の誤りについて話合ったり、正しい計算の仕方を説明したりする。
- ・答えを見積もったり、もう一度やり直したりする態度を育てる。(よさ)

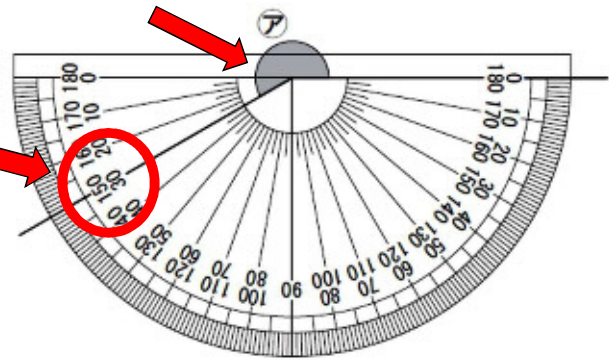
**算数科A**

正答率 <全国:58.0% 北九州市:55.1%> -2.9ポイント

(2) アの角の大きさは何度ですか。答えを書きましょう。

誤答者数 3487名

正	<u>210°</u>	55.1%
誤	<u>150°</u>	37.3%
誤	<u>30°</u>	2.8%



測定する角がどの角かを意識せず目盛りの数字を読んでいる。

**180° よりも大きい角の大きさを正しく測定することに課題**→180°よりも大きい角の大きさを、2直角、3直角を基にして捉えることができていない。

- ・計算問題と同様に、
- ★角の大きさの見当を付ける。(1直角、2直角、3直角を基準に)
- ★角の大きさを測定する。
- ★角の測定の結果を振り返って確かめる。

**算数科B**

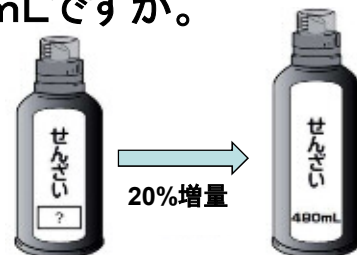
正答率 <全国:13.1% 北九州市:14.2%> +1.1ポイント

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。

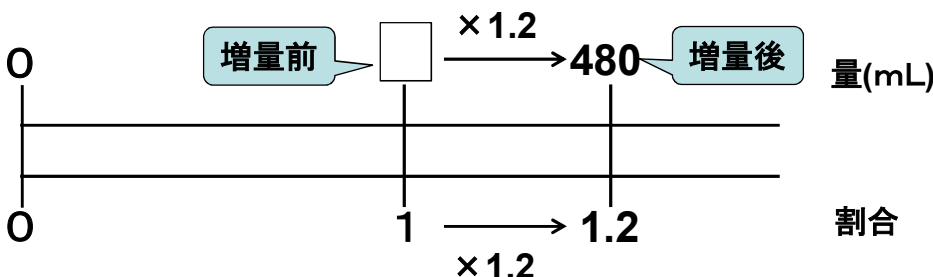
誤答者数 6656名

正	$480 \div 1.2$	$\square \times 1.2 = 480$	14.2%
誤	$480 \times 0.8$		27.6%

(増量後の量の80%に当たる量)



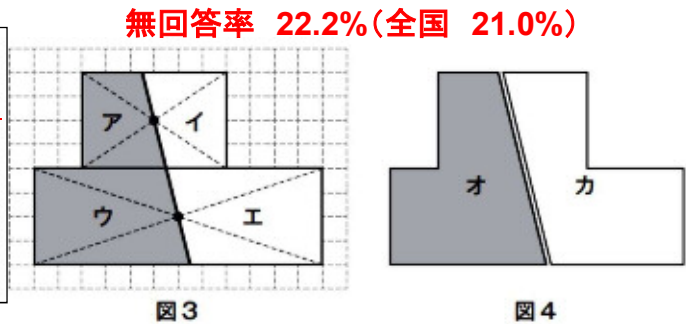
**比較量と割合から基準量を求めることに課題**→基準量・比較量・割合の関係を正しく捉えることに課題がある。



図や数直線図、関係図に表すことを通して、□の1.2倍が480だから、式は、 $\square \times 1.2 = 480$  というように数量の関係を整理させる。

(1) なぜ、オとカ の面積が等しくなるのですか。そのわけを、言葉や数、アからカまでの記号を使って書きましょう。

(例)アとイの面積は、等しく、ウとエの面積も等しいも等しいです。オは、アとウを合せた図形で、カは、イとエを合せた図形です。  
同じ面積の図形を合せているので、オとカの面積は、等しい。



論理的に考えたり、説明したりすることに課題→根拠となる事柄を過不足なく説明できていない。

論理の飛躍を防ぎ、聞き手に的確に伝わる指導が必要。例えば、オとカの面積が等しくなる理由を説明する際、「アとイの中心通っているからアとイは等しい。」といった根拠が不足した説明を示して、「もっと詳しく言えないか。」と発問し、解決のために必要な根拠を満たす説明となっているかを話合う活動を取り入れる。

### 【課題のある問題(正答率が低い・無回答率が高い)】

#### 【算数A】

- 小数の計算(計算の見積もり、確かめ、計算の理解)
- 角の大きさの測定( $180^\circ$  より大きい角の大きさ)

#### 【算数B】

- 比較量と割合から基準量を求める(数量関係)
- 根拠となる事柄を過不足なく説明



- 徹底した練習(習熟)
- 答えを見積もる、確かめる態度の育成
- 系統的な図の指導
- かく活動(ノート指導)、説明する活動の充実

○ 数学A（中学校）

基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

集計結果

対象生徒数	北九州市（公立）	全国（公立）
	7,586	1,016,737

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			北九州市 (公立)	全国 (公立)
全体		36	61.6	64.4
学習指導要領 の領域等	数と式	12	65.0	67.7
	図形	12	60.6	63.4
	関数	8	58.9	61.7
	資料の活用	4	60.5	63.0
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な技能	17	62.0	65.0
	数量や図形などについての知識・理解	19	61.4	63.9
問題形式	選択式	19	62.2	64.6
	短答式	17	61.0	64.2
	記述式	0		

○ 数学B（中学校）

基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

集計結果

対象生徒数	北九州市（公立）	全国（公立）
	7,591	1,016,548

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			北九州市 (公立)	全国 (公立)
全体		15	37.7	41.6
学習指導要領 の領域等	数と式	4	59.6	63.2
	図形	4	33.9	39.0
	関数	5	27.9	30.7
	資料の活用	2	25.7	31.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	13	38.9	42.8
	数学的な技能	2	29.5	34.2
	数量や図形などについての知識・理解	0		
問題形式	選択式	4	44.7	47.9
	短答式	4	42.5	47.4
	記述式	7	30.9	34.8

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。